地区社協活動シート

宮城野区

枡　　江　地区社会福祉協議会

更新日：令和　8年　6月　1日

1．地域情報

圏域	（主な町名）安養寺2丁目～3丁目、二の森の一部、枡江、幸町3丁目、幸町5丁目の一部 （連合町内会）枡江学区町内会連合会 （地域包括支援センター）燕沢地域包括支援センター、小松島地域包括支援センター （学区）枡江小学校、西山中学校、幸町中学校				
人口※1	3,881人	高齢者数　※1	1,012人	高齢化率※1	26.08%
世帯数1	1,919世帯	未就学児数※1	165人		
地区の概況	枡江地区は古い住宅街と同時に新しいマンション、アパートの増加で新旧が混在。 次代の担い手発掘が今後の課題。				
地域資源（関係団体、施設、連絡会等）	単位町内会	大堤町内会，枡江町内会，二の森町内会，幸北町内会 幸町五丁目国家公務員合同宿舎自治会， ラ・ヴィル杜自治会、幸ガーデンマンション自治会			
	地域活動団体（町内会除く）	枡江学区町内会連合会，幸町地区民生委員児童委員協議会， 枡江地区募金会，枡江赤十字奉仕団			
	ＮＰＯ ボランティア団体				
	高齢者関係施設等	軽費老人ホームA型「あけの星荘」			
	障がい者関係施設等	知的障害者更生施設「きぼう園」，知的障害者通勤寮仙台通勤寮， 知的障害者通所授産施設「いずみ授産所」、いずみ高等支援学校			
	子供関係施設等	さゆり保育園，児童養護施設小百合園， 枡江児童館，宮城県女子総合支援センター，ますえの森どうわこども園			
	教育機関	枡江小学校、西山中学校、幸町中学校			
	市民利用施設	枡江コミュニティセンター、大堤集会所、幸町市民センター			
	その他				

※1　令和8年4月1日現在の「仙台市町名別年齢（各歳）別住民基本台帳人口」の町名ごとに集計されているデータを、その町名を主に活動圏域とする地区社協ごとに累計したものです。詳細な地区社協活動圏域（街区符号・住居番号）による累計ではありません。

2．地区社協の体制

結成年月日	（昭和）・平成　　５９年　　４月　　２８日			
社協会員数	576名（普通会員数 572名、特別賛助会員数　4名）※令和7年度実績			
会　長	氏　名	田中　恒寿	就任年月日	令和 4年 5月 21日
	兼務の状況	地区募金会会長，枡江赤十字奉仕団団長		
組織体制	（役員体制）会長1名，副会長2名，監事2名，理事8名，会計1名，推進員1名 （活 動 者）15名　　（活動者呼称）福祉委員			
主な活動拠点	有→	（名　称）		
	無→	（主な活動場所）枡江コミュニティセンター		

地区社協活動シート

宮城野区

枡　　江　地区社会福祉協議会

３．小地域福祉ネットワーク活動

推進体制の概要	6ブロック制にして実施。
会議・研修	・コーディネーター会議 ・福祉委員会議　・福祉委員サロン会(年４回)

活動の概要（令和７年度 実績）	安否確認活動	日常生活支援活動	サロン活動
	実施対象世帯（実数） 225 世帯 （内訳） 一人暮らし高齢者世帯　160 世帯 日中独居高齢者世帯　29 世帯 高齢夫婦世帯　21 世帯 その他の高齢者がいる世帯　8 世帯 障がい者のいる世帯　6 世帯 子供のいる世帯　1 世帯 その他の世帯　0 世帯 **実施回数（延べ）**　5,478 回 **主な支援内容** 訪問、電話、外からの見守り、その他	**実施対象世帯（実数）**※2 124 世帯 （内訳） 一人暮らし高齢者世帯　87 世帯 日中独居高齢者世帯　18 世帯 高齢夫婦世帯　11 世帯 その他の高齢者がいる世帯　6 世帯 障がい者のいる世帯　2 世帯 子供のいる世帯　0 世帯 その他の世帯　0 世帯 **実施回数（延べ）**　2,925 回 **主な支援内容** 草刈り、買い物、ゴミ出し、掃除、洗濯、散歩の付添、認知症の方にゴミ出しの日を手紙で伝えた、外出・通院の付添・送迎、器具・電灯の修理、部品交換簡単な用足し、薬の受取り、	**実施回数** 56 回 **延べ参加数** 452 人 （対象） ☑高齢者 □障害者 □子育て中の親（子） □子ども □その他 ※定期的に開催しているサロン等は、別紙「主なサロンの開催状況一覧」参照

※2　日常生活支援活動の実施対象世帯数は、下半期（１０月～３月）における実績。

４．広報など

広報紙等	広報紙の名称	枡江地区社協だより	発行頻度	年１回
	発行部数・配布方法等	1,500 部		
	その他の広報			

５．その他の活動

活動・取組みの概要	地域の関係団体で構成された「枡江まちづくり委員会」で地域の課題を見つけ解決にむけた取り組みを住民と専門職のみんなで行っている。

６．地区社協活動の特徴

・世代間交流を大切にした活動を継続している。
・福祉委員は学校での４年生を対象にした高齢者疑似体験や認知症サポーター教室への応援。児童はこれらの経験を通して、メッセージカードや葉書での交流を行っている。
・65 歳以上の高齢者と枡江小５年生とのふれあいボーリング大会の実施。
・ニュースポーツ、ボッチャやダーツでの枡江わいわいクラブと児童との交流。